

公 表

第47回技能五輪全国大会「和裁」職種競技課題

今大会より、統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと

次の注意事項及び仕様に従って、女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。
ただし、障害者の場合は、障害の程度に応じて、当該障害者が必要とする工具等の使用を認めるものとする。
- (2) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (3) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (4) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とするので、作業を終了したものは、その旨競技委員に申し出ること。
- (5) 競技終了時間になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。

3 仕 様

仕立て寸法 **身丈・・背から4尺1寸以上**
袖丈・・1尺3寸以上

- (1) 事前に縫い上げておくものは、次のとおりとする。
右そでのみ。(えり先布と裏おくみのこはぎはしてきてよい。また、胴裏大巾の場合、背縫いは自由とする。)
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。
左そでと表身ごろ、裏身ごろから仕上がりまで。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。
- (6) 共えり及びつま下(えり下)のしつけは、してきてはならない。
- (7) しつけの種類は自由とする。ただし三つえり芯の長さは8寸(30cm)以内とする。
- (8) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (9) 選手番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。

公 表

第 4 7 回技能五輪全国大会「和裁」職種持参工具等一覧表

選手が持参するもの。（数量欄の数字は、特にことわりのない限り選手 1 人当たりの数量を示す。）

区分	品 名	規 格	数 量	備 考
材 料	表地	事前に配付した材料を持参のこと	1 枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの
	裏地	事前に配付した材料を持参のこと	1 枚分	仕様どおりに事前に裁断縫製したもの（通し裏は使用できない）
	三つえり芯		適 宜	
	すそ芯又はふきわた		適 宜	
	糸		適 宜	

注意 その他、必要だと思われる裁縫用具一式を各自持参すること。ただし、アイロン（ベビーアイロンを含む）、霧吹き等他人に迷惑をかける恐れのあるものの持込みは禁止する。
裁ち板の足台の高さは 1 5 c m ないし 2 5 c m である。

公 表

第 4 7 回技能五輪全国大会「和裁」職種設備基準

競技会場に準備してあるもの。

品 名	規 格	数 量	備 考
裁 ち 板	1 8 0 × 4 5 × 4 . 2	1 枚 / 1 人	
こ て	電化ごて	1 台	2 本差し
選手番号票	10 c m × 5 c m	1 枚 / 1 人	
座 布 団		1 枚 / 1 人	
手元ライト		1 台 / 1 人	